≪平成24年度薩摩川内市事務事業評価表≫　　別紙1

1　事務事業の位置付け（Plan）

事務事業名	保健対策推進事業			担当者	常盤　美幸
所管部課名	市民福祉部　市民健康課			事業の根拠	健康増進法
事業の種類	☑ソフト事業　□建設・整備事業			□施設管理	☑内部管理
総合計画上の位置づけ	施策の基本方針	政策（章）	健康で共に支え合うまちづくり	主要施策	保健・医療の充実
				施策（項）	健康づくりの推進

予算科目等	会計	一般会計	款	衛生費
	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費
	事項	保健対策推進事業費	細事項	

事業の概要

1．健康づくり推進協議会
市民の健康づくり対策を推進するための方策を体系的･総合的に企画･審議することを目的として、健康づくり推進協議会を設置し、関係団体との協力体制のもと、健康づくりをすすめる。年2回の会議を開催する。
2．食生活改善推進員研修及び活動補助事業
市民の食生活改善に関する正しい考え方と知識を普及し，市民の健康に寄与することを目的として、食生活改善推進員を養成し、推進員が住民に対して講話や調理実習による推進活動をすることで、食生活の面から健康づくりを支援する。推進員には、適切かつ効果的な推進をするための研修を、年3回実施する。

2　事務事業の実施　（Do）

事業の内容	対象（誰を，何を対象とする事業か）	1．健康づくり推進協議会委員 2．薩摩川内市食生活改善推進員	事業開始年度		平成17年度
	手段（市がどのような活動をするか）	1．薩摩川内市の健康づくりの推進について会議を開催し協議する。 2．薩摩川内市食生活改善推進員に2年間の委嘱をし、食生活に関する推進のための研修（講話と調理実習）を年3回実施する。また、推進活動に係る必要経費を補助する。	活動指標（市として何を行うか？）	指標名	（1･2共通）健康づくり計画の目標値の達成度 2．補助事業の活動実績（開催回数･参加者数）
				最終目標値	（1･2共通）健康づくり計画、各項目の目標値 2．補助事業の活動実績 年間15回 参加者数1，500人
				最終年度	平成27年度
	意図（どのような目的で事業を行うか）	1．現在の様々な健康課題の解決を目指して、市民の健康づくり対策を推進するための方策を保健･医療の関係団体と審議する。 2．現在、食生活に起因する生活習慣病等が増加している。各ライフステージに応じた望ましい食習慣を普及することにより、市民の健康増進に寄与する。	成果指標（活動をした上で，目標となる成果をどのように設定す	指標名	活動指標に同じ
				最終目標値	活動指標に同じ
				最終年度	平成27年度

	項目	単位	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算額	平成25年度見込み	平成26年度見込み
経費及び指標の推移	事務事業費	千円	2,283	2,333	2,425	2,200	2,200
	報償費		1,293	1,382	1,384	1,300	1,300
	旅費　普通旅費		337	338	421	400	400
	需用費　消耗品		222	238	220	200	200
	役務費　手数料		258	275	300	300	300
	使用料及び賃借料		73	0	0	0	0
	負担金補助及び交付金		100	100	100	0	0
	要員配置状況	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	職員		0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	嘱託員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員等		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標の推移		（1･2共通）健康づくり計画の目標値、各項目について改善･悪化あり 2．（15回1,243人）	（1･2共通）健康づくり計画の目標値、各項目について改善･悪化あり 2．（15回1,243人）	平成27年度の最終目標達成に向けて取り組みを行う	平成27年度の最終目標達成に向けて取り組みを行う	平成27年度の最終目標達成に向けて取り組みを行う
	成果指標の推移		活動指標に同じ	活動指標に同じ			
財源内訳	事務事業費	千円	2,283	2,333	2,425	2,200	2,200
	国・県支出金						
	その他						
	一般財源		2,283	2,333	2,425	2,200	2,200

3 事業の視点別評価 （Check）

妥当性

対象・手段の妥当性　☑ 妥当である　☐ 改善の余地はある　☐ 妥当でない

（上記選択の理由）
心身の健康、食生活の問題、超高齢社会など、多くの健康課題を抱え、医療保険や介護保険制度の問題がある現在、保健・医療の各分野の協力体制を作ること、また望ましい食習慣普及については、地域に根ざした推進員活動が効果的である。今後も増加する推計のある生活習慣病の予防をすすめるために、目標の達成に向けて継続するべき事業である。

市が関与すべき妥当性　☑ 市で実施すべき　☐ 民間でも可能　☐ 民間で実施すべき

（上記選択の理由）
健康づくりを推進するには、市の健康課題の分析が必要であり、実態把握と課題分析については市の健康づくり計画において行うものである。その計画をもとに関係機関や地域の推進員と普及啓発をする必要があるため、市が主体となって推進体制を整え、方向性を示して実施すべきである。

効率性

事業費の削減余地　☑ 削減余地がある　☐ 削減余地はない

（上記選択の理由）
市主催研修会の開催回数は3回であるが、食生活改善推進員協議会の自主研修を支援することで、開催回数を2回に減らすことは可能である。

人件費の削減余地　☐ 削減余地がある　☑ 削減余地はない

（上記選択の理由）
報償費の必要性について
1．健康づくりの推進体制において、現在の健康づくり推進協議会の委員数は必要である。
2．市の各地域において、格差なく推進できるようにするために、現在の推進員数の確保は必要であり、その推進員全員に対して育成研修の必要がある。

有効性

成果の達成度　☐ かなり高い　☑ やや高い　☐ 低い

（上記選択の理由）
生活習慣病の増加など、様々な健康課題がある中で、健康づくりの推進や食生活改善の推進により、健康づくり計画の目標項目には改善項目がある。悪化している項目についても大きな悪化は回避できている。

成果の向上余地　☐ かなりある　☑ ある程度ある　☐ ほとんどない

（上記選択の理由）
薩摩川内市健康づくり計画は、平成23年度に策定し、平成27年度に見直すことになっている。そのために平成24年度は健康づくり推進協議会において推進体制を整え、栄養・食生活分野の作業部会では、関係者による検討をしながら推進することになっており、食生活改善推進員の地域活動の役割は大きいと考える。

4 事業の改革・改善の方向性 （Action）

内部評価（一次）

内部評価結果

今後の改革の方向性
☐ 現状のまま継続
☑ 見直しの上で継続⇒今後の方向性 ☐ 拡大　☐ 他の事業と統合　☐ 手段の改善　☐ 移管　☑ 縮小
☐ 休止　☐ 廃止

上記方向の理由

今後、食生活改善推進員の自主活動を支援し、自主研修による学習を充実させることで、市主催の研修会の開催回数を減らすことが出来る。

改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画

研修会開催回数を減らす。

外部評価（二次）

外部評価結果

事業の視点別評価
妥当性　⇒　☐ 高い　☐ 低い
効率性　⇒　☐ 高い　☐ 低い
有効性　⇒　☐ 高い　☐ 低い

今後の改革の方向性
☐ 現状のまま継続
☐ 見直しの上で継続⇒今後の ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合　☐ 手段の改善　☐ 移管　☐ 縮小
☐ 休止　☐ 廃止

外部評価結果のまとめ

保健対策推進事業費

平成23年度決算額

（単位：円）

節	決算額	保健対策推進事業費			
		健康づくり推進協議会		食生活改善推進員研修及び活動補助事業	
			備考		備考
報償費	1,382,000	38,000	協議会出会謝金（19名 ×2,000円）	1,344,000	市主催定例研修会出会謝金 （延べ672人 ×2,000円）
旅費　普通旅費	337,970	7,250	協議会旅費	330,720	職員旅費等（甑地域）　107千円 定例研修会及び県研修会甑旅費　推進員旅費　224千円
需用費　消耗品	237,866			237,866	市主催定例研修会 食材料159千円　その他消耗品79千円
役務費　手数料	275,520			275,520	推進員検便手数料
負担金補助補助及び交付金　補助金	100,000			100,000	薩摩川内市食生活改善推進員協議会
合計	2,333,356	45,250		2,288,106	

平成23年度活動実績・概要など

	健康づくり推進協議会	食生活改善推進員
市における事務事業の内容	・地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第１３８条の4 第3 項に規定する附属機関等ではないが、健康増進法に定める保健事業の円滑かつ効果的な推進のために医療・保健の関係機関と検討・協議をすることを目的に設置している。 ・市内の行政機関、保健、医療、地域の各種団体からの推薦による26名の委員からなる協議会である。（会長　藤川地区コミュニティ協議会長　北迫茂） ・市民の健康づくりの対策の推進を目的とする。 ・薩摩川内市健康づくり推進協議会を4回開催した。 ・委員は、別紙のとおり	・市が実施する食生活改善推進員養成講座修了者（別紙/養成講座資料のとおり）に対して、薩摩川内市食生活改善推進員を委嘱している。（別紙「食生活改善推進員設置要綱」のとおり。） ・その他全体的な活動内容等は、別紙「食生活推進員活動について」のとおり。 ・市が委嘱を行った食生活改善推進員は、協議会を設立している。 （別紙「食生活改善推進員協議会　内規」のとおり。） ・食生活改善推進員は、現在211名（別紙のとおり。）
保健対策推進事業費	・協議会開催のうち、全4回の1回分については、内容を市民の健康づくり対策を推進するための市事業実績報告による協議として、保健対策推進事業費で対応。 ・協議内容は① 市各種事業実績及び平成23年度事業計画等について	・食生活改善推進員養成講座の開催 ・食生活改善推進員に対して、市主催の定例研修会を年3回実施。 ※市から出会謝金あり。詳細は別紙のとおり。 ・甑地域の推進員については、県主催研修会の旅費の支給有り。（4地区各1人）
保健指導費	・協議会開催のうち、全4回の3回分については、内容を[薩摩川内市健康づくり計画策定として、保健指導費で対応 ・協議内容は①健康づくり計画素案について②計画の修正・追加、重点の取組について③計画素案の修正、パブリックコメントについて	―
医療費適正化事業費	―	・食の伝承塾 ・健康づくり栄養教室 ※市から出会謝金あり。詳細は別紙のとおり
その他	―	薩摩川内市食生活改善推進協議会は、自主的な食生活改善の活動を行っている。 ・自主研修会　　※市からの出会謝金なし。市職員が講師等となり関与している。 ・自主活動　　※市からの出会謝金なし。 ・いきいき”食”ふれあい事業 ※市から食生活改善推進員協議会への10万円の補助金の活動内容 ・高齢者ふれあいいきいきサロン ※社会福祉行議会からの依頼に基づき実施（社協からの出会謝金もなし。） ・その他依頼による活動（依頼元から出会謝金がある場合と、ない場合がある。） ・自主事業

各ライフステージごとの取組の目標項目一覧

乳幼児期（0～5歳）・妊娠期

■バランスのとれた食生活・食習慣の実現

指　　標	対　象	現状値(H22年度)	目標値(H27年度)
家族そろって食事をする家庭の割合	保護者	55.0%	増加傾向へ
朝食を欠食する子どもの割合	１歳以上の未就学児	1.5%	減少傾向へ
おやつの時間を決めている割合	１歳６か月児	67.9%	増加傾向へ
	３歳６か月児	67.8%	増加傾向へ
主食・主菜・副菜をそろえるように心がけている割合	保護者	86.9%	増加傾向へ

■休養・こころの健康の確保

おっぱいで育てる母親の割合（６か月時母乳のみ）	母親	45.3%	増加傾向へ
育児について相談相手のいる母親の割合	母親	99.3%	増加傾向へ
父親が母親の相談相手，精神的な支えになる割合	保護者	76.1%	増加傾向へ
自分が子どもを虐待していることがあると思う母親の割合	母親	6.0%	減少傾向へ
子育てに自信が持てない母親の割合	母親	8.1%	減少傾向へ
父親が子どもを虐待していることがあると思う母親の割合	母親	0.6%	減少傾向へ

■禁煙と効果的な分煙の促進

妊婦の喫煙率	妊婦	3.9%	0%
育児期間中の父親の喫煙率	父親	57.7%	減少傾向へ
育児期間中の母親の喫煙率	母親	11.4%	減少傾向へ

■適正な飲酒習慣の実現

妊婦の飲酒率	妊婦	1.0%	0%

■歯と口の健康づくりの促進

妊婦歯科健康診査の受診率	妊婦	32.9%	35%以上
むし歯のない子どもの割合	３歳児	69.0%	72%以上
間食として甘味食品・飲料を１日３回以上飲食する習慣のある幼児の割合	１歳６か月児	20.0%	15%以下

■自分と家族の健康管理

妊娠11週以内の届出率	妊婦	81.5%	増加傾向へ
全出生数中の極低出生体重児の割合	出生児	0.95%	減少傾向へ
全出生数中の低出生体重児の割合	出生児	12.2%	減少傾向へ
健康診査受診率	１歳６か月児	95.3%	増加傾向へ
	3歳児	93.5%	増加傾向へ
予防接種接種率	ポリオ	94.2%	96%以上
	三種混合	95.5%	96%以上
	二種混合	92.7%	96%以上
	MR（麻疹・風疹）	84.7%	90%以上
	日本脳炎	77.8%	90%以上
	乳幼児期BCG	97.7%	98%以上
乳幼児突然死症候群(SIDS)から赤ちゃんを守るために気をつけることを知らない親の割合	保護者	15.7%	0%
生後６か月未満の新生児・乳児にうつぶせ寝をさせている母親の割合	母親	22.4%	0%
子どもの事故防止対策を実施している家庭の割合	保護者	89.7%	100%
心肺蘇生法を知っている母親の割合	母親	76.3%	100%
休日・夜間に対応可能な医療機関を知っている親の割合	保護者	84.6%	100%
かかりつけの小児科医を持つ親の割合	保護者	88.4%	100%

■夢・目標・生きがいの創造

育児はすばらしい仕事であり，自分の成長にもなると思う人の割合	保護者	92.6%	増加傾向へ
よく育児に参加する父親の割合	父親	56.1%	増加傾向へ
よく子どもと一緒に遊ぶ父親の割合	父親	66.4%	増加傾向へ

学童期・思春期（6～18歳）

■バランスのとれた食生活・食習慣の実現

指　　標	対　象	現状値(H22年度)	目標値(H27年度)
食事の準備や片付けなどの手伝いをする子どもの割合	小学１年生	33.8%	37%以上
	小学４年生	35.2%	39%以上
	小学６年生	45.8%	50%以上
	中学１年生	32.5%	36%以上
	中学３年生	27.7%	31%以上
	高校３年生	31.8%	35%以上
朝食欠食者の割合	中学１年生	3.6%	2%以下
	中学３年生	5.2%	2%以下
	高校３年生	11.3%	10%以下

■休養・こころの健康の確保

自分が生まれてきてよかったと思っている生徒の割合	中学３年生	82.9%	増加傾向へ
	高校３年生	77.8%	増加傾向へ
自分のことを大事に思っている生徒の割合	中学３年生	60.6%	増加傾向へ
	高校３年生	58.9%	増加傾向へ
ほっとできる場所がある生徒の割合	中学３年生	93.5%	増加傾向へ
	高校３年生	90.9%	増加傾向へ
ほっとできるときがある生徒の割合	中学３年生	93.2%	増加傾向へ
	高校３年生	93.0%	増加傾向へ
現在，自分の心や身体の変化に不安がある児童･生徒の割合	小学６年生	11.5%	減少傾向へ
	中学３年生	19.6%	減少傾向へ
	高校３年生	24.4%	減少傾向へ
不安があるときだれにも相談しない児童･生徒の割合	小学６年生	11.8%	減少傾向へ
	中学３年生	21.5%	減少傾向へ
	高校３年生	20.3%	減少傾向へ

■禁煙と効果的な分煙の促進

喫煙経験がある生徒の割合	中学３年生	7.3%	0%
	高校３年生	7.7%	0%
敷地内禁煙の幼稚園・保育園・小中学校の割合	市内の幼稚園・保育園・小中学校	80.9%	100%

■適正な飲酒習慣の実現

飲酒経験のある生徒の割合	中学３年生	25.5%	0%
	高校３年生	41.4%	0%

■歯と口の健康づくりの促進

一人平均のむし歯の数	中学１年生	2.8歯	1.4歯以下
歯肉に所見のある人の割合	中学１年生	12.9%	12%以下
割合	中学１年生	40.3%	50%以上

■自分と家族の健康管理

肥満児の割合	小学４年生	6.7%	6.0%以下
	中学１年生	5.9%	5.3%以下
標準体重以下であるにもかかわらず「自分は太っている」と思っている生徒の割合	中学３年生女子	58.0%	減少傾向へ
現在，自分が健康だと思っている児童・生徒の割合	小学６年生	78.5%	増加傾向へ
	中学３年生	70.7%	増加傾向へ
	高校３年生	73.7%	増加傾向へ
性感染症を知っている生徒の割合	中学３年生	77.4%	増加傾向へ
	高校３年生	93.8%	増加傾向へ
10代の人工妊娠中絶実施率	10代女性	13.1%	減少傾向へ
薬物乱用の有害性を知っている生徒の割合	中学３年生	94.3%	100%
	高校３年生	94.5%	100%

■夢・目標・いきがいの創造

自分の生き方を自分で決定できると感じる生徒の割合	中学３年生	57.6%	増加傾向へ
	高校３年生	59.1%	増加傾向へ

青年期・壮年期（19～64歳）

■バランスのとれた食生活・食習慣の実現

指　　標	対　象	現状値(H22年度)	目標値(H27年度)
主食・主菜・副菜を揃えるように心がけている人の割合	成人全体	66.3%	73%以上
野菜を毎日食べる人の割合	成人全体	58.3%	72%以上
大豆製品をほぼ毎日食べる人の割合	成人全体	25.1%	30%以上
魚を週３日以上食べる人	成人全体	59.6%	82%以上
朝食欠食者（週４日以上）の割合	20歳代男性	29.3%	15%以下
	30歳代男性	17.0%	15%以下
	20歳代女性	22.9%	15%以下
脂肪分の多い食事をよく食べる人の割合	20歳代女性	20.8%	19%以下
	30歳代女性	22.6%	21%以下
	成人男性	15.0%	13%以下
砂糖入りのコーヒー・紅茶や甘いジュースを毎日飲む人の割合	20歳代女性	37.5%	34%以下
	成人男性	17.7%	16%以下
甘いものをよく食べる人の割合	20歳代女性	62.5%	37%以下
	30歳代女性	48.1%	37%以下
煮物など味付けは濃い方である人の割合	成人全体	28.0%	27%以下
自分の食生活に問題があると思う人のうち，改善意欲のある人の割合	成人男性	85.7%	100%
	成人女性	86.4%	100%
外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする者の割合	成人全体	40.1%	80%以上
外食栄養成分表示店舗数	市内の飲食店舗	40店舗	48店舗以上

■生活における身体活動量の増加

日頃から日常生活の中で，健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすなどの運動をしている人の割合	成人男性	57.9%	61%以上
	成人女性	53.0%	65%以上
運動習慣者（週３回以上運動している人）の割合	成人男性	29.1%	32%以上
	成人女性	30.4%	34%以上

■休養・こころの健康の確保

睡眠によって休養が十分にとれていない人の割合	成人全体	22.3%	17%以下
眠りを助けるためにアルコールを飲むことのある人の割合	成人全体	22.5%	20%以下
自殺者の数	全市民	20人	20人以下
自分の悩みやストレスの相談をする相手がいない，または誰にも相談しない人の割合	成人全体	10.1%	9%以下

■禁煙と効果的な分煙の促進

喫煙で右の疾患にかかりやすくなると思う人の割合	肺がん	成人全体	83.9%	100%
	ぜんそく		38.5%	
	気管支炎		50.8%	
	心臓病		28.0%	
	脳卒中		31.0%	
	胃潰瘍		15.5%	
	妊娠への影響		31.9%	
	歯周病		17.6%	
公共の場における禁煙（建物内全面禁煙）実施率		成人全体	80.0%	100%

■適正な飲酒習慣の実現

多量飲酒者（ビール換算で１日中瓶２本以上をほぼ毎日飲む人）の割合	成人男性	15.0%	14%以下
	成人女性	0.7%	0.6%以下
飲酒する成人のうち，意識的に休肝日を設けようと心がけている人の割合	成人男性	46.7%	53%以上
	成人女性	53.3%	69%以上

■歯と口の健康づくりの促進

進行した歯周病を有する人の割合	40歳	24.1%	23%以下
	50歳	45.8%	28%以下
デンタルフロスや歯間ブラシを使って口のなかの手入れをしている人の割合	40～59歳	36.7%	60%以上
１年に１回は歯科健康診査を受けている人の割合	40～59歳	22.9%	34%以上

指　　標		対　象	現状値(H22年度)	目標値(H27年度)
喫煙で歯周病にかかりやすくなると思う人の割合（再掲）		成人全体	17.6%	100%

■自分と家族の健康管理

メタボリックシンドロームの概念を知っている人の割合		成人全体	－	100%
自分の適正体重を知っている人の割合		成人男性	48.5%	100%
肥満者（BMI≧25.0）の割合		20～60歳代男性	26.9%	15%以下
		40～60歳代女性	17.9%	16%以下
腹囲85cm以上の人の割合		40歳以上の男性	34.2%	33%以下
腹囲90cm以上の人の割合		40歳以上の女性	16.5%	13%以下
特定健康診査受診率		40～74歳	33.1%	65%
特定保健指導実施率		40～74歳	22.0%	45%
メタボリックシンドローム該当者・予備群		該当者	865人	716人以下
		予備群	756人	670人以下
糖尿病有病者		40～75歳	342人	264人以下
高血圧症有病者		40～75歳	2,051人	1,681人以下
脂質異常症有病者		40～75歳	872人	691人以下
検診の受診率	胃がん検診	40歳以上の市民	17.4%	30%以上
	肺がん検診		48.6%	50%以上
	大腸がん検診		25.4%	30%以上
	子宮がん検診	20歳以上の女性	25.4%	30%以上
	乳がん検診	40歳以上の女性	21.1%	30%以上
検診の精密検診受診率	胃がん検診	がん検診受診者で要精検と指摘された市民	93.3%	100%
	肺がん検診		89.8%	100%
	大腸がん検診		82.1%	100%
	子宮がん検診		93.3%	100%
	乳がん検診		97.4%	100%
薩摩川内市健康づくり計画を知っている人の割合		成人全体	－	100%

■夢・目標・いきがいの創造

生きがいを十分感じている，または多少感じている割合	40～64歳	75.1%	82%以上

高齢期（65歳～）

■バランスのとれた食生活・食習慣の実現・・・・・・・・青年期・壮年期参照

■生活における身体活動量の増加

指　　標	対　象	現状値(H22年度)	目標値(H27年度)
運動習慣がある	65歳以上	45.1%	50%以上
運動習慣の頻度は「週２日以上「１日平均30分以上」「運動を1年以上継続」のすべてを満たしている割合	65歳以上の方で運動習慣がある人	70.7%	78%以上

■休養・こころの健康の確保

週３日以上外出する高齢者の割合	65歳以上男性	57.3%	63%以上
	65歳以上女性	49.2%	58%以上
週１日以上外出する高齢者の割合	65歳以上男性	83.0%	91%以上
	65歳以上女性	80.3%	85%以上

■禁煙と効果的な分煙の促進・・・・・・・・・・・・・・・青年期・壮年期参照

■適正な飲酒習慣の実現・・・・・・・・・・・・・・・・・青年期・壮年期参照

■歯と口の健康づくりの促進

歯や口の状態について満足している人の割合	60歳以上	26.8%	36%以上
１年に１回は歯科健康診査を受けている人の割合	60～69歳	28.2%	40%以上
１年に１回は歯科医院で歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合	60～69歳	27.8%	40%以上

■自分と家族の健康管理・・・・・・・・・・・・・・・・・青年期・壮年期参照

■夢・目標・いきがいの創造

生きがいを十分感じているまたは多少感じている割合	65歳以上	78.3%	86%以上
地域の行事や活動（自治会，高齢者クラブ，趣味の活動など）に参加している人の割合	60歳以上男性	57.3%	61%以上
	60歳以上女性	54.2%	61%以上

食生活改善推進員活動について

＜食生活改善推進員活動の目的＞

市民の食生活改善に関する正しい考えかたと知識を普及し，市民の健康に寄与することを目的とする。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに「食生活，運動，休養」のバランスのとれた生活習慣の定着を自発的な活動と公的活動の両面からすすめる。まずは家族の健康からお隣さん，お向かいさんへ働きかけ，仲間とのふれ合いの楽しさを通じて，地域ぐるみの良い食事習慣づくりに取り組む。

（１）食生活改善推進員の養成について

①目的

市の健康づくり推進を円滑に推進するために、上記の目的のもとに食生活改善推進員を養成し、住民への推進活動や地区づくり活動を通して、食生活の面で健康づくりを支援することを目的とする。

②内容

「国民の健康づくり地方推進事業及び婦人の健康づくり推進事業等実施要綱」のもと、＜食生活改善推進員養成カリキュラム＞に基づいて、養成講座を開催し、規定の単位を取得した者を養成講座修了者とする。

（２）委嘱について

市は住民の健康づくりを推進するために、養成講座修了者に対して、薩摩川内市食生活改善推進員を委嘱する。

委嘱を受けた者は、市保健事業の協力と地域における推進活動を行う事とする。

（３）市主催　定例研修会

①目的

推進員の育成をすることを目的とする。

市の健康づくり推進における課題と現状、及び栄養・食生活に関する適切な知識・情報を推進員に周知し，地域において食生活の面から健康づくりを支援する推進活動が出来るようにする。

②内容　　講話と調理実習、運動実習、グループワーク

③対象　　薩摩川内市食生活改善推進員として市より委嘱した者

④日程　　年３回　各地区単位で行う。

⑤謝金　　市は研修会出会者に出会謝金を支払う。

食生活改善推進員設置要綱

（目的）

第１条　この要綱は，食生活の改善を通して市民の健康づくりを推進するため，薩摩川内市食生活改善推進員（以下｛推進員」という。）の設置に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（設置）

第２条　薩摩川内市に推進員を置く。

（任務）

第３条　推進員の任務は，次のとおりとする。

（１）食生活講習会の開催

（２）個別の対話による食生活改善の相談、普及、推進

（３）地区組織活動による食生活改善の普及、推進

（４）自主グループによる食生活改善の普及、推進

（５）保健事業、介護予防事業等、市事業への協力

（委嘱）

第４条　推進員は，市が行う推進員養成講座の終了者又は，これと同等の知識経験を有するもののうちから市長が委嘱する。

（任期）

第５条　推進員の任期は，２年とし，再任を妨げない。

（研修）

第６条　推進員は，任務の遂行のため必要な知識及び技術の習得に努めなければならない。

（その他）

第７条この要綱に定めるもののほか，必要な事項は，市長が別に定める。

（附則）

第８条　この要綱は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

薩摩川内市食生活改善推進員協議会　内規

（目的）

　食生活改善推進員の活動は，「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに，バランスのとれた生活習慣の定着を目的に自主的な活動と行政への支援活動を行うことである。

（活動）

　食生活改善推進員は「行政機関の行う事業・行事への参画、地区組織活動として住民や他団体との協働」の2本柱のもとに，次のような活動をすすめる。

① 食育の推進と普及，啓発
② 食事バランスガイドの普及，啓発
③ 健康日本21の推進
④ ヘルスサポーターの育成と組織つくり

（食生活改善推進員養成テキストより）

（自主活動）

　食生活改善推進員が行う自主活動はテーマ・マニュアルにより実施する，次に掲げるものである。

① メタボリック症候群他生活習慣病予防のための活動
② うす味習慣の定着化活動
③ 骨粗鬆症予防のための活動
④ 子どものためのよい食習慣の普及活動
⑤ 運動習慣の定着化活動
⑥ 男性のための料理教室
⑦ 高齢者の自立のための食生活講座
⑧ その他の事業

（食生活改善推進員養成テキストより）

（自主活動の実施について）

　食生活改善推進員の自主活動は，家族，お隣さん，お向かいさんへと働きかけ，地域ぐるみのよりよい食事習慣づくりから始まります。

① まずは家族，友人へ働きかけ，地域へと広げる。地域へと広げる場合，自分の住んでいる地区の会員と一緒に，地区コミュニティ協議会に働きかけ，保健福祉部会の活動として実施し，教室開催については年間計画をたてることが望ましい。
② 会員不在の地区コミュニテイにおいても，会員の意欲と好意により推進されることが望ましい。その場合，地区に縁のある会員等，会員間の協力を得て推進する。

③ 地区に関わりなく住民の自主グループを作って活動する際は以下のとおり進める。

（1） 教室開催の経費として，材料費・会場使用料等を含んだ会費を参加者と共に協議・決定し，運営する。

（2） 開催場所は各地区コミュニティセンターや自治公民館が望ましいが，調理室の状況等に困難があれば，各保健センターでの開催も可能である。

（3） 自主グループ発会が決定した場合，会長と事務局に報告し，事務局は活動実績を集約する。

④ 実施内容については，健康づくり計画に掲げる「栄養・食生活」の課題と目標に基づいたもの，または協議会の推進目標によるものであり，必要があれば市民健康課栄養士の助言を受ける。

（市が依頼する事業について）

1．市が食生活改善推進員に依頼する事業は，次に掲げるものである。

（母子事業）

① 6ヶ月児健診における離乳食支援

② 離乳食教室における支援

③ 食物アレルギー教室における支援

④ その他母子栄養健康教育における支援

（成人事業）

⑤ 健康相談等における食生活支援

⑥ その他各種健康教育における食生活支援

（地区づくり推進事業）

⑦ 健康づくり栄養教室

⑧ いきいき食ふれあい事業

2．事業の実施手順

①市は年度当初に各事業の日程を決定し，推進員の配置を協議会長へ依頼する。または随時，各事業の実施を決定するとともに依頼する。

②協議会長は各事業の担当者を決め，担当者は従事する推進員の配置を取りまとめて市へ報告する。

③事業に従事する推進員は，各事業の目的を理解し，その目的に応じた推進活動を希望する者であることが望ましい。また，会員の可能な限り，広くすべての会員が携わり，住民の健康づくりに寄与出来るようにする。

④推進員は各事業の目的を把握し，住民に食生活についての支援しなければならない。そのために市は推進員に対して必要な研修を行い，また事前に担当者と打ち合わせを行い，事業が円滑に実施できるようにする。

受講生募集！

食生活改善推進員　養成講座

“健康は食から！”飽食の時代，情報あふれる昨今！

あなたも，“食”について学んでみませんか？

現在，『食』を取り巻く環境は著しく変化し，不適切な食事のとり方や運動不足によって肥満や生活習慣病が増加しています。いつでもどこでも多種多様な食べ物が手に入る食環境，健康に関する情報が氾濫する現在，私たちの生活の中で『食』が本来もっていた大切な役割が失われようとしています！

食は命の源であり，未来を担うこどもたちの豊かな心と体を育てるため，大人自身の元気な体と心のためにもとても大切です！
皆さん！ぜひ今，『食』について考え，学んでみませんか！

（養成講座期間）20 年 10 月～21 年 2 月【１３回講座】
（対象者）　①市内に居住の２０歳以上の方
②全日程を受講できる方
③終了後、食生活改善推進員活動ができる方
（　場　所　）　すこやかふれあいプラザ
（申し込み方法）直接、電話またはＦＡＸにて申し込み下さい。
（申し込み締切）９月１日（月）まで
※ 定員：４０名になり次第締め切ります。
（問い合せ・申込み先）
薩摩川内市　市民健康課 健康指導東部ｸﾞﾙｰﾌﾟ
（川内保健センター）
Tel　２２－８８１１　Fax　２２－８０３８

養成講座終了後は食生活改善推進員として，地域や家庭におけるボランティア活動、市の事業（健診や栄養教室等）等で，子どもから高齢者まで，また妊婦さんたちへの食生活の支援をしていただきます！

平成20年度 食生活改善推進員養成講座カリキュラム

回	期日	内　　容	時　　間	講 師	場 所
1回	10/15 （水）	開校式 ， オリエンテーション 健康づくり地区組織活動について 食生活改善推進員と地区組織活動 薩摩川内市の現状（保健・福祉） 食生活の現状と問題点	13:30～ 14:00～15:00 15:00～16:00	 市民健康課　課長 管理栄養士	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
2回	10/20 （月）	国民の健康状況と生活習慣病予防 （講義）	13:30～15:30	川薩保健所　保健所長	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
3回	10/29 （水）	健康日本21について （講義） 薩摩川内市の健康づくり計画について 健康さつませんだい21「食生活・食習慣」	13:30～15:30	保健師 管理栄養士	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
4回	11/6 （木）	介護予防について（講義） 薩摩川内市介護保険、介護予防の現状について 介護予防と食生活について	13:30～14:30 14:30～15:30	保健師 管理栄養士	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
5回	11/18 （火）	調理の基本（講義） （調理実習）	9:00～12:00	管理栄養士・栄養士	すこやかふれあいプラザ 調理実習室
6回	12/5 （金）	生活習慣病予防の食事 （調理実習）	10:00～12:00	管理栄養士・栄養士	すこやかふれあいプラザ 調理実習室
7回	12/15 （月）	食事診断・献立のたて方（グループワーク）	13:30～15:30	管理栄養士・栄養士	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
8回	1/9 （金）	薩摩川内市、母子保健の現状について（講義） 母子の栄養について 食育について	10:00～1100 11:00～12:00	保健師 管理栄養士	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
9回	1/16 （金）	子どもの食事 （調理実習）	10:00～12:00	管理栄養士・栄養士	すこやかふれあいプラザ 調理実習室
10回	1/27 （火）	身体活動，運動で健康づくり （講義） （実習）	9:30～10:30 10:30～11:30	健康運動指導士	すこやかふれあいプラザ 多目的ホール
11回	2/2 （月）	口からの健康づくり 薩摩川内市、口腔保健の現状について	13:30～15:30	歯科衛生士	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
12回	2/12 （木）	食品衛生と食環境保全（講義）	13:30～15:30	川薩保健所衛生課	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室
13回	2/20 （金）	地域における食生活改善推進活動 食生活改善推進員の役割 閉校式	9:00～9:30 9:30～10:00 11:00～11:30	市民健康課 課長 市食改会長	すこやかふれあいプラザ 3階大会議室

市主催　食生活改善推進員定例研修会　実施状況

	年度	平成22年度	平成23年度	事業費
市主催研修会	回数	3回	3回	
	研修会内容	①働き盛りの栄養について 講話と調理実習 ②介護予防について 講話と調理実習 ③・母子の栄養（食物アレルギーについて） ・心の健康づくりについて 講話 補講：母子・成人・介護予防の食事について 講話	①食文化と健康づくりについて 講話と調理実習 ②思春期の栄養と食生活について 講話と調理実習 ③・介護予防のための運動について 運動実習 ・生活習慣病予防と食環境整備について グループワーク 補講：講演「旬と野菜たっぷりの具たくさん味噌汁で生活習慣病予防」	市予算 出会謝金　2,000円/1人 旅費 食材料費 158．856円 用紙等消耗品 79，010円
	参加延人数	596人　（実人数218人） ※実人数は1回でも参加した人	672人　（実人数230人） ※実人数は1回でも参加した人	

市保健事業による食生活改善推進事業実績

（予算）国保特別会計　医療費適正化事業　/生活習慣病予防対策に係る事業費

【食の伝承塾】

		H21	H22	H23
回数		44回	47回	47回
延べ参加者数		909名	758名	821名
従事した推進員数（延べ）		93名	127名	125名
執行額	推進員報償費	331,500円	366,600円	366,600円
		3,900円×85名	3,900円×94名	3,900円×94名

【健康づくり栄養教室】

		H21	H22	H23
回数		64回	74回	69回
延べ参加者数		1,055名	1,392名	1,182名
従事した推進員数（延べ）		128名	160名	173名
執行額	推進員報償費	499,200円	573,300円	526,500円
		3,900円×128名	3,900円×147名	3,900円×135名

※　①食生活改善推進員が、各地区コミ、自治会等で教室を企画・実施する。
　　②食の伝承塾は、栄養士の講話あり。健康づくり栄養教室も随時、要望に応じて
　　栄養士講話あり。

●市の依頼事業

【6ヶ月児健診】

		H21	H22	H23
回数		36回	36回	36回
従事した推進員数（延べ）		56名	56名	56名
執行額	推進員報償費	140,400円	140,400円	140,400円
		3,900円×36名	3,900円×36名	3,900円×36名

【離乳食教室】

		H21	H22	H23
回数		17回	6回	12回
従事した推進員数（延べ）		34名	12名	24名
執行額	推進員報償費	132,600円	46,800円	93,600円
		3,900円×34名	3,900円×12名	3,900円×24名

5)　食の伝承塾

		日時	場所	参加者数	主な参加者	主な関係者	備考
川内	亀山	3月9日（金） 9：30～12：30	亀山コミセン	29	亀山地区一般	地区コミ会長 地区コミ主事	コミセン便りで周知
	可愛	11月18日（金） 9:30～12:40	中央公民館調理室	27	可愛地区一般住民 コミ学習教室参加者	地区コミ会長 地区コミ主事	コミセン便りで周知
	育英	12月5日（月） １０：００～１３：００	育英コミセン	16	高齢者学級	地区コミ主事坂元さん	
	川内	7月7日（木） １０：００～１３：００	川内保健センター	25	川内地区高齢者学級	コミ主事 高齢者学級長	
	平佐西	8月19日（金） 9：30～13：00	平佐西コミセン	13	平佐西高齢者	地区コミ主事	
	平佐東	11月19日（土） 10:00～12:40	平佐東コミセン	14	平佐東地区住民 体操クラブ	地区コミ主事	コミセン便りで周知
	隈之城	9月15日（木） 10:00～13:00	セントピア	22	隈之城地区一般住民	地区コミ主事	コミ協だよりで周知
	永利	7月6日（水） １０：００～１３：００	永利コミセン	22	高齢者いきいきサロン参加者と世話人	地区コミ主事	
	水引	10月24日（月） １０：００～１３：００	水引コミセン	10	浜田地区老人会	地区コミ主事 老人会会長	
	峰山	1月２８日（土） ９：３０～１２：４０	峰山コミセン	10	地区住民	地区コミ主事	
	滄浪	7月２１日（木） ９：３０～１３：００	滄浪コミセン	16	地域高齢者	コミ主事	
	寄田	2月22日（水） 10:00～12:30	寄田コミセン	14	寄田地区女性部	コミ主事　外さん	
	八幡	7月１９日（火） ９：30～１３：００	八幡コミセン	12	女性学級	コミ主事 女性学級生	
	高来	12月7日（水） ９：００～１３：００	高来コミセン	18	高齢者学級「高来友悠クラブ」	地区コミ主事　福寿さん 高齢者学級長	
	城上	12月19日（月） ９：３０～１２：３０	城上コミセン	9	高齢者学級	地区コミ主事 高齢者学級	
	陽成	10月25日（火） ９：00～13:00	陽成コミセン	13	地域高齢者	コミ主事 お花グループ	地区回覧で周知予定
	吉川	8月２４日（水） ９：３０～１２：１０	吉川コミセン	12	地域住民	地区コミ主事　久木野さん	
	湯田	7月4日（月） １０：００～１３：００	湯田コミセン	35	元気はつらつクラブ会員	地区コミ主事 元気はつらつ部会	
	西方						
	19						
樋脇	藤本	８月21日（日） ９：30～１１：００	藤本コミセン	15	藤本女性部	地区コミ主事 女性部長	
	野下	7月13日（水） ９：30～12：30	野下コミセン	16	地域高齢者	コミ協会長 コミ主事・民生委員	
	市比野	２月１９日（日） 9:30～12:30	樋脇保健センター	13	市比野地区高齢者	地区コミ会長・主事 高齢者学級・民生委員	
	樋脇	2月14日（火） 10:00～13:00	婦人の館	18	高齢者サロン 虹の会	高齢者サロン代表者 虹の会代表者	
	倉野	１２月5日（月） １０：００～１３：００	倉野コミセン	35	倉野高齢者（ふれあいサロン）	地区コミ主事 高齢者サロン代表者	
	5						
入来	副田	8月1日（月） ９：30～12：３０	入来会館	17	高齢者	コミ会長・コミ主事 さわやか体操教室	
	清色	11月23日（水） １０：００～１３：００	清色コミセン	30	地区住民	地区コミ会長 地区コミ主事	
	朝陽	7月11日（月） １０：００～１３：００	朝陽コミセン	18	寒椿会（高齢者）	地区コミ役員	
	大馬越	3月8日（木） 10:00～13:00	市民ふれあい農園研修施設	13	山之口あじさいサロン高齢者	地区コミ・女性部 山之口自治会・社協	
	八重	1月２６日（木） ９：００～１２：３０	八重コミセン	22	地区高齢者	地区コミ会長 地区コミ主事	コミセン便りで周知
	5						

		日時	場所	参加者数	主な参加者	主な関係者	備考
東郷	斧渕	11月21日（月） 9：00～13:00	アミテイ	16	斧渕地区一般	地区コミ主事	自治会にチラシ配布
	南瀬	11月28日（月） １０：００～１３：００	南瀬コミセン	18	高齢者サロン	地区コミ主事 サロン代表者	
	山田	7月5日（火） １０：００～１３：００	山田コミセン	23	一般住民	地区コミ役員	
	鳥丸	2月7日（火） １0:00～１3:00	鳥丸コミセン	18	鳥丸地区高齢者	地区コミ主事　鍋倉さん	
	藤川	8月19日（金） 9：30～１２：１０	藤川コミセン	12	地区一般住民	地区コミ役員	
	5						
祁答院	黒木	8月23日（火） 9:30～12:30	黒木コミセン	27	黒木サロンひまわり会	地区コミ会長 地区コミ主事 黒木サロンひまわり会	
	上手	8月25日（木） 9：30～13：00	上手コミセン	17	黒木地区高齢者	地区コミ会長 高齢者サロン 老人クラブ	
	大村	8月１０日（水） 9:３０～12：30	大村コミセン	29	高齢者	地区コミ役員	
	轟	2月9日（木） 9：30～１2:３０	轟コミセン	12	高齢者クラブ	地区コミ主事 高齢者クラブ会長	
	藺牟田	5月21日（土） １0:0０～13:00	藺牟田コミセン	14	藺牟田地区男性	込み協役員 コミ主事川路さん	
	5						
下甑	手打	1月12日（木） ９：３０～１３：００	下甑公民館	16	高齢者	手打本町高齢者学級 地区コミ	
	子岳	1月１８日（水） １０：００～１３：００	子岳コミセン	21	地区一般	地区コミ主事	
	西山	3月6日（火） 10:00～14：00	西山コミセン	15	西山高齢者	地区コミ主事 老人クラブ	地区放送でも周知
	内川内	3月6日（火） 10：00～13：00	内川内コミセン	6	内川内高齢者	地区コミ主事	
	長浜	10月22日（土） 10：00～13：00	長浜コミセン	12	地区住民	地区コミ主事 高齢者クラブ会長	
	青瀬	1月12日（木） １０：００～１３：００	青瀬コミセン	14	地区高齢者	高齢者クラブ 地区コミ主事	
	6						
里	里	9月30日（金） 10:00～13:00	里公民館	13	地区一般住民	地区コミ主事	
	1						
上甑	上甑	6月22日（水） 10：00～13：00	上甑保健センター	14	一般住民	コミ協会長 込み主事	
	1						
鹿島	鹿島	10月21日（金） 10:30～13:00	鹿島コミセン	10	一般住民	支所市民生活課	町内放送で周知
	1						

●実施回数　４７回　　●参加者数　８２１名（延べ）

2)健康づくり栄養教室

【川内】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	食改
1	永利	認知症予防	地域高齢者	14	7月21日	福祉会館	福森キヨ子・田中洋子
2		高齢者の食事	永利EMグループメンバー	22	3月12日	永利コミセン	白石ミツ子・木場由子（川野初子）
3	隈之城	糖尿病予防	女性部	24	7月15日	セントピア	尾崎久枝・原田悦子（坂下キミ）
4		高齢者の食事	宮崎自治会高齢者	19	10月13日	宮崎自治公民館	曽木昭子・児玉香
5	平佐西	親子料理	田崎おやこ	22	7月28日	田崎自治公民館	福森キヨ子・小野悦子
6		日本型食事の伝承	平佐西地区一般	12	2月17日	国際交流センター	和田美恵子・吉田美穂子
7		高齢者の食事	田崎地区高齢者	26	2月23日	田崎自治会館	藤田和子・沖牟田よつえ（福森キヨ子）
8	水引	日本型食事の伝承	浜田自治会住民	13	11月11日	浜田公民館	今村えり子・山崎公代
9	育英	日本型食事の伝承	育英保育園子育て支援センターの子育て中のお母さん	11	1月27日	育英コミセン	湯田和恵・坂元まり子（永峯洋子）
10		高齢者の食事	高齢者学級	13	2月8日	育英コミセン	湯田和恵・沖上シヅ子（坂元まり子）
11	可愛	高齢者の食事	可愛長寿会	23	11月16日	川内保健センター	島田澄子・森永靖子（白石ミツ子）
12		高齢者の食事	高齢者サロン	20	3月20日	御陵下運動場会館	福森キヨ子・和田美恵子（森永靖子）
13	平佐東	高齢者の食事	高齢者サロン	24	12月9日	楠元下公民館	加世堂良子・田中洋子
14		高齢者の食事	楠元上地区高齢者	19	3月22日	楠元上自治会館	梅木紀子
15		男性料理	薩摩川内ロータリークラブ	15	3月21日	川内保健センター	森永靖子・福田敏子・池田信子
合　　計				277			

【樋脇】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	食改
1	野下	糖尿病予防	わいわい広場（高齢者）	13	7月7日	野下コミセン	横山眞弓・山下リイ子
2	市比野	親子料理	市比野おやこ	21	8月6日	樋脇保健センター	鷺山日出子・横山眞弓（山下リイ子・田上香智子・福田恵子）
3		日本型食生活の推進	市比野一般	17	9月10日	樋脇保健センター	西幸子・田上香智子
4		郷土料理	指月ハイツ自治会	20	2月10日	樋脇保健センター	西幸子・横山眞弓
5	樋脇	男性料理	塔之原1区男性	9	8月7日	塔之原1区多目的集会	内田里子・前田ミフ
6		高齢者の食事	八幡サロン参加者	16	11月14日	婦人の館	徳留隆子・井上サツキ
7		高齢者の食事	杉馬場サロン高齢者	17	2月10日	杉馬場公民館	渡邊ヒサ子・高崎利子（川野安枝）
8		郷土料理	虹の会	12	3月6日	中央公民館	四元純子・猶野福子
9	藤本	郷土料理	藤本地区一般	8	1月16日	藤本コミセン	西支圭子・鮫島アツ子
10	倉野	地産地消	婦人部	12	11月13日	倉野コミセン	石原ケイ子・平美知子
11	全体	親子料理	樋脇中学校家庭教育学級	21	12月14日	樋脇中学校	鷺山日出子・鳥越イサ子（徳地朋子・宮内タエ子）
合　　計				166			

【東郷】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	推進員
1	東郷	高齢者の食事	体操クラブ	14	8月3日	東郷アミティ	鬼塚マス子・瀬戸東由美子（柳田法子
2		男性料理	東郷小おやじの会	19	1月21日	東郷アミティ	森園睦子・冨永祐子（吉留絵里）
3		親子料理	東郷地区親子	16	2月11日	東郷アミティ	前原成子・瀬戸東由美子
4		高齢者の食事	高齢者サロン支援者	17	2月24日	東郷アミティ	坂元ヒロ子・古川チトセ
5	南瀬	親子料理	南瀬地区おやこ	15	8月24日	南瀬コミセン	徳永法子・前原成子
6		郷土料理	南瀬住民	12	10月28日	南瀬コミセン	古川チトセ・西田ゆかり（川畑由美子
7	藤川	糖尿病予防	藤川一般	11	10月5日	藤川コミセン	後藤深幸・犬井美香
8		高齢者の食事	藤川高齢者	9	1月16日	藤川コミセン	早﨑京子・後藤深幸
9	山田	日本型食事の伝承	山田地区住民	12	10月31日	山田コミセン	高田艶子・下川原智美
10		地産地消	山田地区一般	13	11月25日	山田コミセン	久留須信子・重松節子
11	鳥丸	高齢者の食事	鳥丸上ふれあいサロン	10	11月17日	鳥丸上公民館	久保博子・知敷成子・久保久仁子
合　　計				148			

【入来】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	食改
1	清色	日本型食生活の伝承	いきいき体操	12	6月15日	清色コミセン	是枝富美子・花田茂子
2		親子料理	入来小おやこ	35	8月10日	入来小	木原涼子・花田茂子
3	副田	子ども料理	副田地区子ども	24	7月16日	八重コミセン	櫛山真知子・西俣律子
4		郷土料理	副田地区一般	14	12月15日	入来会館	平野智子・下副田ヨシ
5	八重	男性料理	八重男性	12	10月30日	八重コミセン	森木節子・生田チエ子
6		高齢者の食事	八重高齢者	17	11月30日	八重コミセン	小田原敦子・水流ミテ
7	大馬越	地産地消	大馬越小・PTA・コミ役員	35	12月22日	大馬越コミセン	谷口ヨツ子・大原春美
8		郷土料理	大馬越地区一般	24	1月6日	大馬越コミセン	水流邦子・松下俊子
9		郷土料理	長野健やかサロン（高齢者）	17	1月27日	長野公民館	谷口ヨツ子・水流邦子
10	朝陽	日本型食事の伝承	朝陽小家庭教育学級	13	1月26日	朝陽コミセン	宮里トミ子・宮園典子
合　　計				203			

【祁答院】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	食改
1	藺牟田	高齢者の食事	地域高齢者	8	7月21日	麓西・東公民館	新森イツ子・松田富子
2		親子料理	藺牟田小親子	30	7月22日	藺牟田小学校	新森イツ子・下野竜子（松田富子）
3	黒木	地産地消	黒木わいわいクラブ親子	34	10月29日	黒木の畑地 黒木コミセン	森裕子・繁昌妙子 （福崎照美・竹下ヨリ子）
4	祁答院全体	日本型食事の伝承	子育てサークルに参加の 育児中のお母さん	9	2月2日	祁答院保健センター	永福トシエ・下野竜子（福崎照美）
合　　計				81			

【上甑】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	推進員
1	中野	高齢者の食事	中野地区住民	14	6月3日	中野集会所	柳陽子・小段静子
2	上甑	男性料理	上甑地区男性	14	3月10日	上甑保健センター	石原弘子・小段静子
合　　計				28			

【里】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	推進員
1	里	地産地消	里地区一般	9	10月5日	里公民館	早瀬了子・五十嵐浩子
2		地産地消	里地区一般	14	10月18日	里公民館	本昭子・北薗和江
合　　計				23			

【下甑】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	推進員
1	長浜	郷土料理	長浜小家庭教育学級	9	9月29日	長浜小	根来美千代・橋口郁美・和田文香
2	手打	日本型食事の伝承	手打小家庭教育学級	23	1月18日	手打小	橋口郁美・有馬久美子（和田文香）
合　計				32			

【鹿島】

	地区	内容	対象	参加者数	月日	場所	推進員
1	鹿島	日本型食事の伝承	鹿島中学校	6	12月16日	鹿島中学校	塩釜悦子
合　計				6			

【子ども料理】

	地区	内容	対象者	参加人数（人）	月日	場所	推進員
1	黒木	子ども料理	黒木わいわいクラブ	19	8月22日	黒木コミセン	竹下より子・吉住悦子（山下美知子・緊昌妙子・福崎照美）
2	下甑		海陽中校区の小学生	21	8月22日	下甑公民館	川畑りか子・和田文香(有馬久美子・橋口郁美・山口圖子・迫田陽子・大毛百合・迫田磨智子・地頭テイ)
3	亀山		亀山児童クラブ	21	11月5日	川内保健センター	花増洋子・下尾崎ときえ（森永靖子）
4	鹿島		鹿島小・長浜小	13	3月3日	鹿島コミセン	塩釜悦子
合　計				74			

【思春期料理】

	地区	内容	対象者	参加人数（人）	月日	場所	推進員
1	東郷	思春期料理	五社上自治会おやこ	16	8月2日	五社上公民館	後藤紀栄子・宮内かおり
2	樋脇		市比野中学生	18	8月22日	樋脇保健センター	徳留隆子・鳥越イサ子（内田里子）
3	川内		平成中おやこ	20	8月19日	平成中学校	宮地幸子・川原和代
4	川内		川内南中おやこ	24	8月6日	川内南中	白石ミツ子・野田伊津
5	上甑		上甑中学生・中津小5・6年	21	10月13日	上甑中	石原弘子・小段静子（梶原尚美）
6	入来		高校1～3年生	30	12月8日	清修館高校聖友寮	松下俊子・今藤雅与
7	下甑		海星中生徒	15	2月2日	海星中学校	和田文香・根来美千代（中川純子）
合　計				144			

健康づくり栄養教室　　69回（参加延べ人数　合計　1,182人）

H23 健康づくり栄養教室　アンケートより

【参加者の声】

＜子ども料理＞
●すごくわかりやすく教えてもらった
●料理を作る楽しさがあった
●家ではたまにしか料理を作ることがないので慣れない所もあったけど、みんなで協力して作ったので良かった
●作ったことも食べたこともないレシピがあったので、お母さんに教えてあげたい
●家でも一人で料理をしてみたい
●昼は家ではバラバラで食べるけど、今日はたくさんで食べて楽しいと思った
●こんなに美味しい料理は初めてだった
●手伝いをいっぱいしようと思う
●料理を作るのは大変だと思った
●初めて包丁を触って家でも練習したいと思った（低学年）
●初めて野菜を切れてよかった（低学年）
●食べものを残さないように食べようと思う
●好き嫌いがあったのでないようにしたい

＜思春期料理＞
●新しい調理法やバランスの大切を知ることができた。またみんなと作りたい
●こんなにたくさんの野菜をたべないといけないと思った
●家に帰ってﾋﾞﾅｺﾞを使って作ってみた。おいしかった。また作ってみたい
●郷土料理を教えていただいてこれからも活用したい
●食事の大切さ・栄養のバランス等、元気に成長していくために大切であることが分かった
●自分で作って食べるとてもいい経験ができた
●今回、作る立場になり、もっと感謝の気持ちを持って残食しないようにしたい
●作ることでいまの旬の野菜などが分かりとても勉強になった。
●甘い物のとりすぎに注意し、今以上に食事のバランスを考えていきたい
●食生活を見直すのにいい機会になった。来年からひとり暮らしなので進んで料理について学んでいきたい
●思春期の食事はとても大切なんだとうことがわかった
●子ども（女）にとってとても良かった。これからダイエットをするだろうから母体を考える上で聞かせておいてよかった（母親）
●子どもと一緒に作れてよかった。短時間でバラエティーに富んだ料理をたくさん作れたことにびっくりした（母親）

＜その他＞
●食事のバランスを考えて献立を考えないといけないなぁと反省した
●参加して元気なみなさんをみると、健康に暮らせる事の大切さを感じた（94 歳）

●最近、特に食事のことについて考えるようになっていたので、興味を持って参加させていただきました。日ごろの食事では魚料理が少ないと感じたので頑張りたい。魚のさばき方も練習します（育児中のお母さん）
●肉より魚を中心にした食生活に戻し、手間ひまをかけて和食中心にしなければと思った家族みんなの健康のために頑張ります（育児中のお母さん）
●家では濃い味付けなので、薄味に心がけたい
●色々な人たちと交流ができて楽しかった
●自分達で作った料理はおいしかった
●子どもと作る料理って楽しくて美味しくて最高です。心がけます
●野菜をたくさん食べるように気をつけたい
●いつも考えているつもりでも忘れがち。定期的なこのような教室はあってもいい
●飲酒の方法（休肝日を設けるなど）を考えたい（64 歳男性）
●日本型食生活の大切さがわかった。日本の食文化・農業をよく考えて広めていきたいと思う
●食のありがたみがわかった。嫁に感謝したい。学校にも還元したい（育児中のお父さん）
●苦手な野菜も工夫すると食べられた
●糖尿病が気になっていたので、参加できてよかった。これからの日々に役立てたい
●私は痩せたいからとご飯を食べない事があったけど、人との食事はとても美味しかったのでご飯をちゃんと食べていきたい（子ども）
●協力することの大切さがわかった（子ども）
●よく噛んで食べるように、大豆やたくさんの食材を入れて食べるようにしたい
●若い年代の方と料理ができて楽しかった
●情報交換ができてよかった（育児中のお母さん）

【推進員の声】

〇子ども達と地域のおばさん達との「食を通しての交流」も目的の一つとして、多くの食改さんで協力し合い、手本を示したり、見守ったり、言葉かけをしたりと、適切な援助をし、一人ひとりの子どもの作業を重視して進めることができた。子ども時代の様々な体験の一つに、このような地域の食材を使って地域のおばちゃんたちとの楽しい「食育」のひとときも、良いことだとあらためて思うことだった（子ども料理教室）
〇常日頃、子ども達の食事の様子を見ながら、感じてても言えなかったことを、栄養士さんに全て言っていただきとても嬉しく思いながら聴いていた。今回の教室で、みんなそれぞれ感じることも多かったようであるが、食に関する意識を持っていただけたらと思う。次の日から全員完食とまではいきませんが、残食が少なってきたような気がする（思春期料理：清修館高校寮）
〇試食の際、全部食べ切って幸せそうな顔をされた時は、大変うれしく思った
〇若いお母さん方が、家族（特に子ども）の食に関心があるんだと、あらためて感じた
〇食改もより一層の努力が必要であると実感した
〇アンケートから、子どもの中に便通が悪い子が多いということがわかる。生活習慣の見直しの必要性を実感する。
〇ふるさとの行事を高齢者の方に教えていただきながら、食と共に子ども達を地域で育てていくことは、まさに「食育」だと思う
〇高齢者の方にとっては、一緒に食事をすることが元気のもとになっているのではないかと考える

H23 年度「食の伝承塾」アンケートより

【参加者の声】

●食事を感謝していただくようにします
●地域・婦人会・サロン等の団体で、食の伝承を広めて欲しい。食は生きていくための命の源ですから。
●減塩には気をつけているつもりですが、やはり家の味付けは濃い。今後気をつけていきたい。
●家庭でもっと野菜の種類を多く作り、安心して食べたい
●食事を見直す機会になって良かった
●いつも作っている料理を、レシピどおりにつくることは、とても勉強になった
●鹿児島の食文化を学び、自然の恵みへの感謝の気持ちでいっぱいになりました
●いつも洋食中心なので薄味や素材の美味しさに気づきました。
●旬のものを食べることの大切さをあらためて知りました。
●栄養士の先生の話が、昔していたことなどで思い出して懐かしかった
●若い世代にももっと食育の指導をしてください
●自分よりも年齢の上の人に学ぶことが多い。私も私なりにほかの人に伝えられたらと思う
●旬の食材を使う郷土料理をもっと知りたい
●野菜のひとつひとつの味を味わうことができた
●開催時期を検討していただきたい。農繁期は参加者が少なくなる
●食と自然とのかかわりを理解することができた
●食の欧米化が自分の家の中でも進んでいると思いました。スーパーで惣菜を買う人が増えて来ている。このような食の伝承を活発に開催し、手作り料理の楽しさを体で覚えられればいいと思う
●郷土料理で家族とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝがもっととれると、懐かしい話しがもっと聴けそうだと思った
●出されたものを食べるだけでしたが、これからは自分で作ることも考えなければ（男性）
●自分の地域にも色んな食材が転がっているのに、地元の人ももっと調理法を学んで活用したらいい
●健康に過ごしていることに有難さを感じ、妻に感謝したい

【推進員の声】

〇ほかの事業と重なってしまい参加者が少なくなってしまった。調整不足を痛感した
〇教室終了して参加者にたくさんの嬉しい言葉をいただき、この伝承塾が参加者にとって有意義であった証だとつくづく思った
〇調理台が 3 台しかなかったので、隣の和室で切ることをしたり、工夫をした
〇献立は、地域の高齢者の自宅を訪問し、昔から何度となく家庭で作ってきた昔ながらの家庭料理を聞き、また夏野菜を使った献立を考えた
〇地域の方と一緒に教室を行い楽しかった。これからも地区コミと協力して、地域で出来る活動をしていきたい。

〇ほとんどの方が食について興味を持って色々考え食事をされていることがわかった。今後、私達推進員も研修を重ね、頑張っていかねばと思うことでした。
〇本来ならもっと若い世代に聞いてもらいたい内容ですが、現状では難しい。PTA などに入り込めたらもっと多くの方に伝えられそうだ。

食生活改善推進員　自主研修会　実施状況

	年度		平成22年度	平成23年度	事業費
自主研修会	実施回数		62回	55回	協議会　予算 食材料費 用紙等　消耗品
	地区別の実施状況（内容と回数）	川内	8回（調理実習7回、運動1回）	8回（調理実習7回、運動1回）	
		東郷	8回（調理実習6回、運動1回、研修視察1回）	8回（調理実習6回、運動1回、研修視察1回）	
		樋脇	5回（調理実習4回、研修視察1回）	5回（調理実習4回、研修視察1回）	
		入来	2回（調理実習）	3回（調理実習）	
		祁答院	7回（実施事業の事前研修会）	3回（実施事業の事前研修会）	
		上甑	14回（調理実習） （定例研修会8回、実施事業の事前研修会6回）	16回（調理実習） （定例研修会10回、実施事業の事前研修会6回）	
		里	6回（糖尿病予防教室事前研修）	0回	
		下甑	12回（事業検討・調理実習・実施事業の事前研修）	12回（事業検討・調理実習・実施事業の事前研修）	

※里・下甑地域は、平成24年度から2ヶ月に1回定例研修会実施

4) いきいき“食”ふれあい事業

事業番号	地区	日程	場所	内容	対象者	参加者数	活動推進員数
1	川内	1月19日	川内高等学校	朝食摂取推進（チラシ配布・試食提供）	川内高校生	428	10
2		2月19日	プラッセだいわ川内店	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	店舗来店者	350	13
3	東郷	6月30日	Aコープ東郷店 バリュー東郷店	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	店舗来店者	120	7
4		1月19日	アミティプラザ東郷	親子料理	子育てサークルサンサン参加者	47	6
5	入来	2月16日	入来文化ホール別館	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	入来あたご大学生	70	11
6	樋脇	9月15日	遊湯館	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	遊湯館来店者	80	8
7		10月20日	遊湯館	朝食摂取推進（チラシ配布・試食提供）	遊湯館来店者	100	8
8		12月19日	遊湯館	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	遊湯館来店者	60	4
9		1月19日	遊湯館	適正体重（チラシ配布・試食提供）	遊湯館来店者	60	5
10	祁答院	6月22日	Aコープ大村店 祁答院ロード５１	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	店舗来店者	50	10
11		1月19日	Aコープ大村店	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	店舗来店者	40	5
12		2月19日	祁答院グランド	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	高齢者クラブグランドゴルフ参加者	60	8
13	鹿島	5月7日	鹿島港	朝食摂取推進（チラシ配布・試食提供）	うみねこまつり参加者・従事者	86	2
14	里	11月16日	里中学校	郷土料理・地産地消（調理実習）	里中学校１・２年生	19	4
15	上甑	9月27日	上甑老人福祉センター	親子料理	ひまわりっこクラブの親子	27	4
16		12月19日	Aコープ上甑店 ポップ・ワン	野菜摂取の推進（チラシ配布・試食提供）	店舗来店者	60	5
17	下甑	3月25日	片野浦岡寺	野菜摂取の推進（調理実習）	子岳地区中高年	21	5
合　　計						1678	115

実施回数　17回　　参加延人数　１，６７８人

食生活改善推進員活動

１）高齢者ふれあいいきいきサロン

（依頼元：社会福祉協議会、謝金なし）

	事業	内容	参加者数
川内	尾白江　年７回	調理実習または試食提供と、対話やその他	２３６
	可愛　年 12 回	試食提供	１２５
	育英　年７回	調理実習または試食提供と対話	２２０
	育英　年７回	調理実習または試食提供と対話	２２０
	ホープタウンひまわり年 12 回	対話	１８０
	さくら会　年 11 回	食事提供・対話	１９８
	田崎鶴亀サロン	調理実習・試食・対話	１２０
樋脇	藤本ゆうゆうサロン（高齢者）	対話・試食配布	２５
	倉野高齢者サロン　月１回	対話・試食配布	４３２
	塔之原２区高齢者ｻﾛﾝ　２回	昼食づくり	４４
東郷	高齢者サロン	調理実習・対話	２５０
	〃	対話	２８６
	〃　年 11 回	調理実習・対話	２００
	〃　年 11 回×3 か所	調理実習・食事提供・対話	１４０
	よかどし会　年 11 回	調理実習・食事提供・対話	１４０
	サロン　年 11 回	食事提供・対話	１７２
	サロン　毎月	食事提供・対話	２５０
	サロン　年９回	食事提供・対話	１９０
	サロン　年 11 回	食事提供・対話	１４３
	サロン　年 11 回	食事提供・対話	１６５
	サロン　毎月	食事提供・対話	１４６
	おじゃんせ会　年 11 回	食事提供・対話	１６０
入来	高齢者ふれあいｻﾛﾝ	調理実習	３５
祁答院	高齢者サロン 各地区毎月	試食提供・対話ほか	１０００
下甑	サロン（子岳）	食事提供	４１
	サロン（青瀬）	食事提供	１５
	サロン（本町）	食事提供	２３
	サロン（内川内）	食事提供	８
	サロン（芦浜）	食事提供	１３
合計			５１７７

２）依頼あり（謝金なし）

	事業	内容	依頼元	参加者
川内	きやんせフェスタ	試食提供	市観光課	１４００
	すくすくランドおやつ作り	調理実習	スポーツクラブ０１	２６
	産業祭	試食提供	市	３００
	平佐東小料理	調理実習	平佐東小	２４
	社協育児パパのクッキング講座 年５回	調理実習	社会福祉協議会	70
	社協シニア男性料理教室	調理実習	社会福祉協議会	55
	社協子育てサロン　年４５回	食事・おやつの提供	社会福祉協議会	1,655
	隈之城地区こみ歩こう会	試食提供・対話	隈之城地区コミ	６５
	隈之城コミ蛍観賞会	試食提供	隈之城地区コミ	１５０
	女性部会	調理実習	地区コミ	２７
	地区料理教室	調理実習	地区コミ	１７
	あさひふれあい老人会	調理実習	地区コミ	２０
	グランドゴルフ	昼食提供・対話	地区コミ	１００
	平佐東コミセン	対話	地区コミ	２５
	水引子育てサロン	食事・おやつ配布	水引コミ	３
樋脇	高齢者健康教室	調理実習・対話	市コミ	３０
	市コミ主催料理教室　年４回	調理実習	市コミ	68
	正月料理教室	試食提供	生協	13
	味噌づくり	実習	生協	12
	塔之原５区婦人部料理	調理実習	樋脇コミ	１５
	塔之原１区男性料理	調理実習	塔之原１区ふれあい会	２４
	塔之原１区地域交流会	調理実習	塔之原１区ふれあい会	２５
	藤本女性料理	調理実習	藤本コミ	１０
	市比野４区高齢者の集い	試食配布	市４区	６０
	市比野コミ料理教室　年４回	調理実習	市比野コミ	６８
	ふるさとウォーキング	昼食づくり	市比野コミ	４５
	市比野地区コミ元気まつり	昼食作り	市比野コミ	１５０
	地区コミ花見会	昼食づくり	樋脇コミ	３４
	ゴールド集落交流会	昼食づくり	樋脇コミ	５０
	ゴールド集落支援	昼食づくり	樋脇コミ	２５
	樋脇地区コミフェスティバル	昼食づくり	樋脇コミ	６５０
	しめかざり作り	昼食づくり	樋脇コミ	８５
	新葉学園交流会	昼食づくり	樋脇コミ	１４０
	慈恵学園交流会	昼食づくり	樋脇コミ	８１
	ぶらり散策	昼食づくり	樋脇コミ	１７０

	事業	内容	依頼元	参加者
東郷	自主サークル子育て支援のんびぃ毎月１回	調理実習・おやつ作り	自主サークル	１５０
	自主グループ若あゆクラブ（高齢者）年５回	調理実習	東郷教育課	８０
	谷ノ口自治会事業年 11 回	食事提供	谷ノ口自治会	１８５
	東郷小赤飯づくり	食事提供	東郷小	３０
	荒川内自治会サロン	食事提供	荒川内自治会	２０
	グリーンツーリズム年４回	調理実習・対話	観光・ＣＳ課	５５
	健康福祉セミナー　２回	対話	地区コミ	３５
	地区コミグランドゴルフ	対話	地区コミ	２１
	子育てサークルさんさん毎月１回	調理実習・おやつ提供	社会福祉協議会	２５０
	サマーボランティア	対話	社会福祉協議会	５０
入来	博愛園ボランティア	対話・ボランティア	社協	１００
	七夕飾り作り	対話	地区コミ	５０
	副田小との交流（昔の料理を教えてもらおう）	調理実習	副田小学校	３０
	入来世代間交流	調理補助	入来地区コミ	６０
	夏祭り	調理・試食・対話	地区コミ	７０
	子ども料理教室	調理実習・対話	地区コミ	２６
	男性料理教室　年３回	調理実習・対話	地区コミ	３８
	十五夜	調理・試食	地区コミ	５０
	サロン	調理実習・対話	地区コミ	５０
	世代間交流	調理実習・試食・対話	地区コミ	７０
	文化祭		地区コミ	１２０
	寺子屋教室	試食	地区コミ	２６
祁答院	町内一周駅伝大会	昼食づくり	祁答院各地区ｺﾐ	２００
	黒木暮れ市	餅つき・昼食づくり	黒木地区コミ	２００
	宮脇自治会敬老会	昼食づくり	宮脇自治会	３０
	大村歩こう会	昼食づくり	大村地区コミ	７０
	大村地区十五夜	食事作り	大村地区コミ	８０
	町内野球大会	食事作り	大村地区コミ	１８
	社協子育てサロン２回	調理実習	社会福祉協議会	５０
上甑	敬老会	調理実習	地区コミ	６０
	文化祭	調理実習	市	３０
	体育祭	試食提供・対話	地区コミ	３０
里	自治会の食事会	調理実習	自治会	２０
下甑	手打小料理	芋堀・調理実習	手打小	２５
	甑大明神マラソン大会	昼食づくり	上甑支所産業建設課	６００
鹿島	料理教室	調理実習	鹿島コミ	１５
	自主グループ子育て支援サークル	調理実習	自主ｸﾞﾙｰﾌﾟ	１５
合計				８７０１

３）依頼あり（謝金あり）

	事業	内容	依頼元	謝金	参加者数
川内	自主ｸﾞﾙｰﾌﾟ「男性料理教室」	調理実習	自主ｸﾞﾙｰﾌﾟ	自主グループ	１１０
	市民大学「男性料理教室」年 9 回	調理実習	社会教育課	社会教育課	１５３
	市民大学「日本のこころを感じよう」年 7 回	調理実習	社会教育課	社会教育課	１０５
	自主ｸﾞﾙｰﾌﾟ料理教室 年 11 回	調理実習	自主グループ	自主グループ	１７０
	勤労青少年ﾎｰﾑ料理教室（家庭料理講座）月 2 回×11 月	調理実習	勤労青少年ﾎｰﾑ	勤労青少年ﾎｰﾑ	５７０
	親子おやつづくり教室	調理実習	まちづくり公社	まちづくり公社	２４
	ホープタウンコープ会員仲間との子ども料理教室	調理実習	コープ川内ホープタウン	コープ川内ホープタウン	１５
	12月8日寄田いきいきサロン	試食提供	自主事業者	自主事業者	２０
	小学校元気塾	調理実習	平佐東小学校	小学校	１７
	隈之城地区女性大学料理教室	調理実習	隈之城地区コミ	隈之城コミ（5000 円を人数でわける）	１１
	スポーツクラブ０１	対話	ｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ 01	スポーツクラブ０１	７２０
	隈之城地区コミ総合大学料理教室	調理実習	隈コミ	隈コミ（5000 円を人数でわける）	２０
東郷	南瀬小家庭教育学級	調理実習	南瀬小家庭教育学級	社会教育課	１５
	グリーンツーリズム 年 4 回	調理実習・試食配布・対話	観光・ＣＳ課	観光・ＣＳ課（宿泊費として）	１５
下甑	かのこロードレース	試食配布	市	市	１００
合計					２０７４

４）自主事業（依頼なし、謝金なし）

	事業	内容	参加者数
川内	長寿会理事会　年 12 回	試食提供と対話	１３０
	レクレーション協会総会	試食提供	２１
	慰問（踊り仲間と）	食事提供	１８
	友人への試食提供	試食提供	２
	12 月 26 日　チラシ配布	対話	１８
	知人宅訪問ボランティア	対話	２０
	地域の方々へ	試食提供・対話	１２
	地域の方々へ	試食提供・対話	４
	独居高齢者の方へ	対話	３０
	自治会サロン	試食提供	５０
	自治会サロン	試食提供・対話	２２
	スイミングクラブの方へ	対話	５
	グランドゴルフ時	対話	５
	パッチ同好会	対話	６
	夏祭り	試食	３００
	自治会サロン（２回）	調理実習	９０
	自治会サロン（４回）	試食提供・対話	５０
	自治会サロン（１８回）	試食提供。対話	３３２
	後牟田自治会班長会	試食提供・対話	１０
	総合大学時（３回）	試食提供・対話	３３
	自主ｸﾞﾙｰﾌﾟ　年 4 回	調理実習・対話	５３
	女性部	対話	１３
	友人宅訪問・食事会・同窓会等	試食提供・対話	１２９
	健康体操	対話	７２
	友人・近所の方へ	対話	３２
	平佐西地区元気づくりクラブ	試食提供・対話	６０
	鶴峯かたいもんそ会　年 7 回	調理実習	６１
	ヨガ教室	対話	３６０
	太極拳	対話	１９０
樋脇	サロン・カトレア	対話	１８
	お菓子作り	試食提供	１８
	高齢者への訪問	食事提供・対話	４８
東郷	おやつ作り	試食提供・対話	６
	球技大会	試食提供	３０
	地域訪問	食事提供	３０
	児童クラブ　年 5 回	おやつ作り	２００
	五社上公園整備手伝い	試食提供	１０
	地域訪問	対話	７５
	地域訪問	対話	２８

	事業	内容	参加者数
東郷	初午団子づくり	調理実習	１２
	地域の高齢者	調理実習・対話	６０
	お茶飲み会　年 6 回	試食提供・対話	４０
	自主グループでのお茶飲み会　年 6 回	試食提供・対話	５０
	近所への声かけ　　月 4 回	食事提供・対話	４８
	親子でそばうち	調理実習	４０
	茶話会	食事提供・対話	４
	サロン　毎月 1 回	食事提供・対話	５０
	高齢者へおせち料理配布	食事提供	１３
	食事会　月 2 回	調理実習・食事提供	１６０
	糖尿病予防の食事紹介　３回	食事提供と対話	８
	グリーンツーリズム受け入れ時朝食の大切さについて	調理実習	３
	高齢者との対話	対話	３
	母子との対話　10 回	食事提供・対話	１０
	一般成人と野対話　5 回	食事提供・対話	１３
	高齢者との対話　5 回	食事提供・対話	１０
	友人との集まり　年 3 回	対話	１８
	地区コミ自主講座（料理）年 6 回	調理実習	６０
	高齢者への料理	食事提供・対話	４５
	所属グループの役員会	試食提供・対話	６０
入来	地域の方へ（法事の時に）	試食提供	１００
	味噌作り	試食提供・対話	２２
	六月燈	試食提供	２２
	誕生会	試食提供・対話	１２
	サロン	試食提供・対話	８
	サロン	対話	３６
	蛍を見る会	調理・試食・対話	８
	地域の方とピザ作り	調理実習・対話	２８
	地域の方へ	試食・対話	６０
	産業祭準備時	試食・対話	２０
	火事見舞い炊き出し	試食・対話	２０
	地域の方へ	試食提供・対話	１７
	自治会の集まり	対話	１４
	職場の休憩時間	対話	６７
	地域の方・友人へ	試食提供	１０
	親睦会	試食提供	５３
	地域の方へ	試食提供・対話	１００

	事業	内容	参加者数
上甑	地域の集まりで	対話	3
	地域の方へ	試食提供（魚）	5
	近所の方へ一皿運動	試食提供・対話	１００
	地域の親子へ	試食（おやつ）・対話	３０
	七夕	試食提供	２０
	お別れ会	対話	３０
里	近所の方へ一皿運動	対話	４０
	子ども会で	調理実習	４
	茶話会	試食提供	３
	薗上サロン	試食提供・対話	２６
	お別れ会	対話	３０
	地域の方へ（法事の時に）	試食提供	１０
	ふれあい市場	対話	３０
	子ども会・河川清掃時	対話	２０
	老人会役員会	試食提供	１１
	河川清掃時	試食提供	２９
	地域の方へ	試食提供・対話	１３
下甑	港高齢者クラブ	食事提供	１９
	手打小おやこ料理教室	調理実習	２０
	下甑地区高齢者レクレーション大会	食事提供・対話	１００
	一人暮らし高齢者訪問	食事提供・対話	２６
	近所の高齢者への対話	食事提供・対話	１５
	近所の一般成人への対話	対話	６
	もちつき大会	調理実習	５０
	お花作り教室	試食提供・対話	１８
	おやつ提供	試食提供	４
	夕食提供　月に１回	食事提供	１２
	おやつ提供　２回	おやつ提供	６
合計			４５７５

食生活改善推進員活動

食の伝承塾　「育児期」

「働きざかり世代」

「高齢期世代」

食の伝承塾

平成 24 年 2 月 9 日 9:30～13:00
於　轟地区コミセン　15 名参加

市民健康課
武元明美氏の講義
「食文化と健康について」

食生活改善推進委員の福崎照美氏及び
有村美紗代氏による実地指導

試食会

食の伝承塾
平成 23 年 11 月 23 日（清色コミセン）

食生活改善推進員　活動

食育の日キャンペーン

親子ふれあい食体験事業

産業際　食教育コーナー